

農業用のクラウド勤怠管理システムを活用した労務管理の最適化と省力化

事例の概要

- 静岡県で畜産酪農業を営む朝霧メイプルファーム有限会社は、生産現場において日本人従業員および、外国人技能実習生を雇用しており、従来は出退勤時間の管理をタイムカードを介して実行。
- かねてより当該法人では、従業員ごとの業務量の最適化を図っていたが、勤務時間を集計するにはタイムカードを一枚一枚確認するか、打刻機からデータをパソコンに取り込んだのちに独自に集計・比較しなければならず、解析・最適化に至るまでには相応の手間と労力を要した。
- 朝霧メイプルファーム有限会社では「第一次産業ネット勤怠」を導入し、従業員労務管理における課題解決を目指した。導入および運用にかかる費用は無料。
- 導入に際して全従業員にアカウントを付与し、日本人従業員にはスマホから、外国人技能実習生には共用のPCからのみ打刻をさせるよう設定し、運用を開始。
- 導入の結果、従業員は事務所に備え付けの打刻機に立ち寄ることなく持ち場へ直接出勤することが可能となり、また、遠隔地・出張先などでの位置情報付き出退勤管理も可能となった。管理者はリアルタイムで、PCもしくはスマホから従業員個々の打刻状況や部門ごとの業務量バランスを確認・集計・比較することが可能となった。
- 現在は、他部門・多国籍な全従業員の打刻手法に関する一本化・省力化を実現。従業員シフトの最適化、部門間の業務量バランスの是正、研修教育体制のコントロールを短時間で効率的に実施。



第一次産業ネット勤怠を導入する前は、タイムレコーダーにカードを通して打刻する、一般的な手法で勤怠管理を行っていました。

酪農業を営んでいる当社では、従業員ごとに搾乳、餌づくり、哺乳などの持ち場を割り振っているのですが、牧場は敷地も広いので従業員によっては出退勤時に「タイムレコーダーのある事務室まで行かなければいけない」不便さがありました。また、私の業務の一つが「勤務シフトの作成」なのですが、できれば従業員の勤務時間を把握して、バランスが悪くならないようにシフトを作成したい、という想いが昔からありました。

そんななか、試験的に第一次産業ネット勤怠を数名の従業員で導入してみたのですが、もともとスマホに慣れている従業員からはとても好感触でした。私自身も、リアルタイムで従業員の勤務時間を把握できるようになったので、シフト作成に役立てられるのはもちろん、勤務時間のアンバランスも解消できるようになりました。全社的に導入した際は、もちろん打刻ミスなども発生しましたが修正申請機能なども用意されているので、特に大きなストレスにはなりませんでした。

今後もアップデートや機能追加がされるとのことなので、一人のユーザーとして大いに期待したいですね。

朝霧メイプルファーム有限会社 取締役 丸山 純

